

京都教区時報

カトリック京都司教区
広報委員会

京都市中京区
河原町通三条上る

TEL 075-211-3025

FAX 075-211-3041

honbu@kyoto.catholic.jp

<https://www.kyoto-catholic.net/>

大塚司教は、年頭書簡でシノダリティを「善きサマリア人のたとえ」と関連づけられ、教会の信者間における対話と協力関係が強められること、そして、助けを求めている人を思いやり、寄り添うことの重要性を強調されました。

シノダリティは、教会のなかで、一体感のある共同体を築こうとしていると同時に、疎外されている人たちや助けが必要な人たちをも仲間として迎えることを目指しています。まず、教会内の多様な声や視点を大切に、それから「善きサマリア人」のように自分と異なる人や共同体外の人たちにも思いやりの精神を広げます。

シノダリティを通し、あらためて気づかされることですが、教会は変化しない静的なものではなく、社会や時代に即し、進化や順応をし続ける、まさに生命あふれる存在なのです。この中で、信者たちはお互いに支え合い、励まし合いながら信仰の道を共に歩んでいきます。加えて、教会が日々の生活に関する様々な事柄に決断と方向性を示す場合でも、今まで以上にその過程で、透明性と責任の所在を明らかにしていこうという姿勢

2024年 司教年頭書簡
わたしのシノダリティを創ろうII
シノドスがめざす〈道〉と〈宿〉の宣教
を受けて



第5回 信仰と希望と愛を持って歩む旅

がシノドスの中で何えま
す。いろいろな方向性を
模索する過程で、信者一
人ひとりもその議論に参
加していき、他人の意見
に耳を傾け、その議論が
果たして聖書に基づいた
正義と慈愛が反映された
ものかどうかについて、
常に考えていかねばなりません。聖霊に助けられ、
共に考えていくうちに、信者間の絆も深まってい
き、主イエスのうちに私たち一人ひとりがいかに
貴重で多様な存在であるか、多くの発見ができる
はずです。シノダリティを通し、多様性を尊重し
ていくうちに、私たちも今までの自分とは違う自
分へと変化していくことでしょう。

究極的に、シノダリティは、私たちに教会の使
命感を再認識させ、今まで以上に聖書の救いのお
しえをとえ、各人の尊厳を尊重し合い、正義と
平和を軸に据えた世界を築くことへと導きます。
それは旅であり、その道のりを、キリストのうち
に兄弟姉妹である私たちが、共に信仰と希望と愛
を持って歩みます。



大塚司教年頭書簡は

こちらから



6
2024

奈良ブロック担当司祭 フィリピン宣教会
グマニト ランディ神父

ライムンド 出水でみず ひろし 洋

司祭叙階式

3月20日 河原町教会

春分の日、京都教区のカテドラル河原町教会において、大塚司教の司式で、ライムンド出水洋助祭の司祭叙階式のミサが行われました。冷たい雨が降る中にもかかわらず、京都教区内から、また出水助祭が司牧実習でお世話になった東京教区の教会の方々など、多くの方が参列してくださいました。

出水助祭は参列くださった教区内外の神父さま方から按手を受け、司祭の祭服に着替えられました。そして、大塚司教から「出水神父さま、あなたを京都教区の司祭団に加えます。神の助け手として、京都教区で働く神父さまと心を一つにして、教区の福音宣教のために力強く奉仕してください。共に神のみ国のために働きましょう。おめでとうございます」と言葉がかけられました。

出水神父は、神学院での6年間の生活はあっとい間だったと話されましたが、何度もなくじけそうになったそうです。それを乗り越え、こうして叙階の恵みを受けられたことを神に感謝いたします。ミサの中で、奈良ブロッ

担当司祭の任命が発表されました。この時報が皆さまのお手元に届くころには、奈良ブロッックでの生活にも慣れて、充実した日々を送っておられることでしょう。出水神父のご健康とご活躍を、これからもお祈りください。

そして今後も教区司祭の召命のために、皆さまのお祈りをお願いいたします。
広報委員会

召命のための祈り

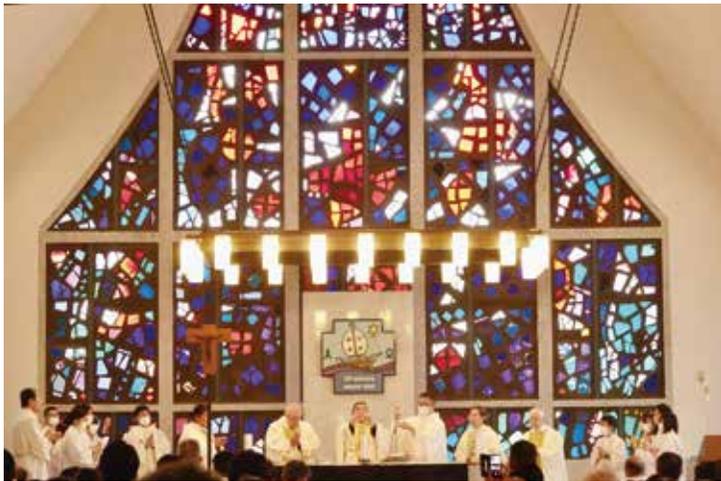
神よ、わたしは、あなたの国の証し人となる人々が、数多く出るように祈ります。

キリスト信者の心に聖霊の息吹きを注ぎ、あなたの招きの声を強く響かせ、召し出しにこたえる清らかな愛を燃え立たせてください。

さまざまな立場で、自分の召し出しを考えている人々が、あなたの呼びかけにすすんでこたえることができるようにしてください。

教会の母マリアよ、わたしたちの願いを聞き入れ、あなたの子イエスに取り次いでください。アーメン。

出典・カルメル会編カトリック祈禱書「祈りの友」教会のために召し出しを願う祈り





心からの感謝をこめて

ライムンド 出水 洋

叙階式を無事に終えることができました。

司祭に叙階された今、多くの皆さまへの感謝の言葉しか思い浮かびません。これまでわたくしにかかわってくださいましたすべての人にお礼を申し上げます。皆さまとの交わりは、わたくしの中でいい思い出であり、司祭の道を歩む上でとても大切な原動力になります。お一人お一人との思い出を大切に、これからの司祭の道を歩んでいこうと心を新たにしております。

わたくしは祈りの力を信じています。召命の道を歩むときに皆さまがわたくしのためにしてくださいました祈りが、本当に大きな励みになり、慰めになっていました。直接お一人お一人にお礼を申し上げることができませんので、この紙面

をお借りして、心からの感謝を申し上げます。

さて、思いめぐらしながらパソコンに向かっていると、どこからともなく「神父さまーっ」という声が聞こえてきました。その言葉にすぐに反応はできません。反応せずそのままにしていると、「神父さまはあんたやがな」という突っ込みをされて、その声を聞いて「そうだった、私が神父なんだ」といって笑いあっています。まだまだ「神父さま」という呼び名に慣れるには時間がかかりそうです。

赴任先での出会いや交わりを心待ちにしています。どのような出会いがあるのか、人生の旅路で出会う人々とどのような旅を共にできるのか楽しみにしています。その旅はすべてが順風満帆ではないことを知っています。時には悩み苦しむこともあるかもしれませんが、その時に皆さまがわたくしのためにしてくださいしている祈りの力を励みに、前に向かって進んでいこうと思います。わたくしも皆さまのために祈りをさせていただきます。

司祭としても、人間としても失敗だらけの弱い人間ですが、このようなわたくしを神は選んで道具としてくださいました。イエスからの光を受けて、世の中で悩み苦しんでいる人にもその光を届けることができると思います。

わたくしが主役ではなく、信徒の皆さま

が主役です。皆さまが輝いて生きていくように、微力ながら尽力したいと思います。皆さまと同じ歩幅で寄り添いながら、信仰の旅を歩んでいけたらと思います。

司祭になっても中身は急に変わりません。これからもどうか温かい目で見守ってください。よろしくお願いたします。



2023年度 カトリック京都司教区本部 決算報告

平素より京都司教区のために、ご支援ご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

2023年5月8日に新型コロナウイルスは感染症5類に移行し、教会活動もようやく平常化の兆しを見せております。

2023年度（1月1日から12月31日まで）の京都司教区の宗教法人本部会計の決算について、主な点をご報告させていただきます。「決算報告書」数式は、昨年度より一層皆さまに分かりやすくご覧いただくために、少々変更しております。ご了承ください。

教区本部会計について

当年度の決算は経常収益計646,207千円、経常費用計は547,907千円でした。

当期税抜前正味財産増減額はプラス98,300千円です。但し法人税額が81,096千円かかりますので、税抜後の正味財産増減額はプラス17,204千円となります。

なお、費用のうち150,000千円は将来の福音宣教活動のために、福音宣教基金とさせていただきます。

1. 経常収益について

- ①小教区からの納付金は（A）～（D）は総額で103,438千円でした。前年度より8,404千円の増収です。
- ②収益事業収益は、河原町教会敷地内ホテル再建設に係る土地借地権者からの地代等や小教区の駐車場収益等で405,869千円でした。

2. 経常費用について

- ①神学生養成費は通常の負担の他、神学生2名の経費を計上しております。
- ②人件費は前年度に比べ4,563千円の増額です。2022年11月入職の本部職員の給与が2023年度は12ヶ月分だったためです。
- ③事務管理費が前年度に比べ4,472千円増額です。唐崎メリノールセンターの施設の管理費等の増額によります。
- ④墓苑管理・整備費が前年度に比べ5,127千円の増額です。大きな理由は衣笠墓苑の河川清掃や崩落墓石の修復工事費用です。

終わりに

2023年度の収益は黒字決算となっておりますが、経常収支は大幅な赤字であり、地代収入によって補填しております。今年6月に新カトリック会館が竣工いたしますが、新司教館の建設、衣笠墓苑の河川改修等で大きな出費が見込まれます。皆様のご協力を今後ともよろしくお願いいたします。

しかしながら、世界の情勢を眺めるとき、わたしたちは単に教区の組織、体制護持という内向きなあり方に留まってしまうと強く感じさせられます。いのちの世界に奉仕するという、教会本来の福音宣教の使命に、絶えず立ち返っていきたくと希望しております。そのために教区において適正な運営がなされますように、皆様のお祈り、そしてご意見、ご協力をよろしくお願いいたします。

2024年6月1日
カトリック京都司教区
本部事務局長 北村善朗

2023年度 カトリック京都司教区本部 決算報告書

自2023年1月1日 至2023年12月31日

(単位：千円)

科 目	実 績	科 目	実 績
I 経常費用	287,372	I 経常収益	175,059
1 福音宣教活動費	47,449	1 司牧祭儀収入	8,245
祭儀費	1,137	司教司牧収入	2,172
教育養成費	2,043	司祭司牧収入	6,073
神学生養成費	8,522	2 納付金収入	103,438
諸委員会活動費	3,346	小教区納付金 (A)	26,309
教区事業活動費	29,513	小教区納付金 (B)	65,808
諸活動団体補助金	400	小教区納付金 (C)	10,314
済州交流費	707	小教区納付金 (D)	1,007
国際交流費	300	3 福音宣教協力金	2,263
会議費	1,247	4 特定献金収入	6,773
図書費	28	5 福音宣教企画室収入	1
諸会費	206	6 墓苑勘定収入	12,355
2 寄付金支出	100	墓苑使用料	4,230
3 特定献金支出	6,773	墓苑祭儀収入	7,392
4 管理費	141,712	(神の園) 使用料収入等	733
人件費	104,393	7 特別勘定収入	11,524
維持管理費	9,291	一粒会	10,281
事務管理費	28,028	済州基金	528
5 福音宣教企画室支出	107	アジア基金	409
6 墓苑勘定支出	11,556	国際協力基金	306
墓苑管理・整備費	11,460	8 その他の収入	30,460
(神の園) 管理祭儀費	96	建設分担金収入	0
7 減価償却費	79,675	一般寄付金収入	26,221
		雑収入	2,889
		受取利息 (預金)	1,350
II 経常外費用	32,410	II 経常外収益	65,279
固定資産売却損	139	固定資産売却益	2,450
固定資産除去損	0	墓苑積立金取崩益	0
特別積立金繰越し	0	投資有価証券償還益	0
投資有価証券償還損	32,271	受取利息 (投資)	62,829
雑損失	0		
III その他費用	228,125	III その他収益	405,869
収益事業費用	78,125	収益事業収益	405,869
福音宣教基金繰入	150,000		
費用総合計	547,907	収益総合計	646,207
税抜前当期正味財産増減額	98,300		
法人税額	81,096		
税抜後当期正味財産増減額	17,204		
合 計	646,207	合 計	646,207

毎年6月は
京都教区・チェジュ教区姉妹教区
交流月間

チェジュからの手紙

チェジュ教区司祭 ブ・ヨンホ

姉妹縁組19年目

京都教区とチェジュ教区が姉妹縁組を結んでから、いつのまにか今年で19年目を迎えることになりました。来年には、京都教区・チェジュ教区姉妹教区縁組20周年を迎えることとなります。20周年記念のためにチェジュ教区では、4年前に教区長として新しく就任したムン・チャウン(ビオ)司教が京都教区を初めて訪問する予定です。

18年前の2006年7月、神学生交流プログラムにチェジュ教区の神学生として、私は初めて京都教区を訪問しました。そのことが、

数か月前のことのように鮮明に思い出されませんが、すでに18年前のことだったと、時の流れの早さをあらためて実感します。



先日、京都教区時報6月号に載せる原稿を依頼されて、何を書けば良いかしばらく悩んだのち、まもなく姉妹教区縁組の20周年を迎えるので、今までの交流プログラムを簡略に紹介するのが良いかなと思いました。

交流を続けた19年

日韓司教交流会が1996年から始まり、京都教区とチェジュ教区は2005年6月7日に姉妹教区縁組を結びました。京都教区では2006年に、花井神父様と京都教区の信徒の方々がチェジュ教区を初めて訪問して以後、毎年、チェジュ教区の聖母の夜の巡礼に参加されるようになりました。

チェジュ教区の叙階式にも、京都教区からお祝いのために参列して下さったり、日韓青年交流会に、京都教区の青年たちがチェジュ教区を訪問したりするなど、数多くの交流行事が行われました。

チェジュ教区では、毎年6月に京都教区・チェジュ教区姉妹教区交流月間として、チェジュ教区の司祭たちが京都教区を訪問して交流プログラムに参加したり、7月にはチェジュ教区の助祭たちが、京都教区での司牧研修として2週間程度の実習をしたり、8月にはチェジュ教区の青少年が京都教区を訪問して、京都の青少年と共に広島平和巡礼に参加するなど、定期的な交流活動をしてきました。



た。この他にも、チェジュの晨星女学校の学生たちによる京都ノートルダム女学院の訪問や、子ども聖歌隊と成人聖歌隊(フェリックス聖歌隊)の公演など数多くの行事を行ってきました。

チェジュ教区司祭の京都への派遣

このような交流行事のために、そして、京都教区の司牧のために、チェジュ教区では司祭を派遣しています。私が、



左から3人目筆者ブ神父、一番左がチェ神父、一番右がキム神父

2009年にチェジュ教区から初めて京都に派遣されました。その後、チェ・ソンファン神父、その次にキム・テジョン神父が派遣されました。私たち三人が順に韓国に帰国した後は、山城ブロックの宇治教会にいるホン・ユンハク神父と、滋賀ブロックの大津教会にいるソ・ウォンハ神父が、私たちのバトンを受け継いで京都教区で司牧をしています。今年にはもうひとり、イ・ウォンギョ神父が派遣され、日本語を勉強しながら協力司祭として司牧をしています。

私の京都教区での8年間の司牧経験は、私により一層成長することができた貴重な教訓の時間でした。多くの教えをくださった大塚司教様と神父様たち、京



ブ神父さまは、今春、小教区司牧から異動され、チェジュ教区本部事務局家庭司牧委員会担当司祭として働いておられます。

ブ神父さまのご健康と今後のご活躍をお祈りいたします。

広報委員会

京都チェジュ姉妹教区 交流の祈り

主よ、私たち京都教区とチェジュ教区が、姉妹教区縁組を通して、韓国と日本の歴史と文化の相互理解を深め、両国を始め、アジアと世界の平和のために奉仕することができましようように。

都教区の信徒の皆さま方に感謝申し上げます。今まで数多くの交流行事が成功したのは、京都教区の多くの方々の祈りと奉仕のおかげです。京都教区のすべての信者の皆さま方に、この紙面を通して深く感謝のご挨拶を申し上げます。

今後も京都教区とチェジュ教区の交流活動が活発に続くことを希望して、京都教区のすべての方が神様の恵みの中で常に健康で幸せな日々を送られることを祈ります。

**「日本シノドスのつどい」開催
3月7日～8日**

2023年10月の、バチカンにおけるシノドス第1会期が終了し、24年10月の第2会期に向けて、各教区・小教区でその準備をする時期となっています。その一環として、3月7日と8日の両日、東京・日本カトリック会館で「日本のシノドスのつどい」が開かれました。

全国15教区から、司教・司祭・奉獻生活者・信徒各1人が集い、準備を担当した「シノドス特別チーム」が加わり、70人あまりが、六つのグループに分かれ、2回、「霊における会話」という、今回のシノドスでの方法を用いて、体験を分かち合いました。

今回、分かち合われた内容は、第2会期に向けて、5月15日までに教皇庁シノドス事務局へ送られる予定となっています。

(カトリック中央協議会HPより)

「霊における会話」という方法論は、人と人が耳を傾けあい、ともに考え（共同責任）、ともに祈り、決断する（共同識別）という教会の「シノダリティ」をよく表すものです。

「日本シノドスのつどい」には、京都教区から、大塚司教、一場神父、福音宣教企画室の修道者と信徒が参加しました。

福音宣教企画室

中学生会春合宿「Take a Picture」～収めよう新たな出会い～

4月1日㊤～3日㊤ 洛星中学高等学校 宗教研究館

中学生会春合宿を開催しました。新たな人との出会い、出来事、変化を経験する春に、春合宿でも新たな出会いがありました。その出会いをリーダーや神父様だけでなく、中学生の立場からも写真に収めてみようということで始まったこの春合宿。1人1台カメラを渡し、彼らの目に映るいつかの瞬間を写真に収め、分かち合いの時間にアルバムを作成しました。中学生が撮った写真をリーダーや神父様方で一緒に見ていると微笑ましい写真がたくさんあり、中学生が楽しむことができただけでなく、リーダーたちも一緒になって楽しむことができた2泊3日となりました。



分かち合いの中では、夏の広島平和巡礼に向けた事前学習を行い、原爆についての理解を深めるとともに、それぞれの意見を交わしました。新たな学びと意見交流ができ、中学生も有意義な時間を過ごせたのではないかと思います。

今回の春合宿を開催するにあたってお世話になった関係者の皆様、ありがとうございました。

中学生会春合宿総括 池本 光

高校生会春の集い「彦根でやるぞ～！」

4月6日㊤ 彦根教会

桜の咲く彦根城のお濠端にあるカトリック彦根教会へ高校生が集まってきました。

ホールへ神父の司式によるミサでスタートし、茶話会。信仰、神様、学校、教会など、たくさんの話題が出てきました。今の青少年はゆっくりとした時間が必要なのではないかと思います。アントニオ神父とランディ神父の手作り菓子、大好評でした。その後、彦根城に行くと、ひこにゃんが私たちを迎えてくれました。

彦根城を見学し、庭園を見ながらゆっくり歩いて、彦根教会へ戻り、散会となりました。



高校生会担当司祭 小立花 忠

青年のための黙想会「永遠のいのちを信じます」

3月16日㊤ 聖ヨゼフ修道会本部



エミリオ神父の指導で行われ、8名の青年が参加しました。元住友家の別邸跡の登録有形文化財「門の家」で、みことばを味わいながら、お話を聞きました。個人黙想の時間には、開放的な庭や、昨秋新築された修道院の美しい聖堂でゆっくり黙想し、希望者はゆるしの秘跡に与りました。最後はミサで締めくくられ、ミサの後ティータイムで楽しい時間を過ごしました。穏やかな春の一日、日々の慌ただしさから離れ、豊かな恵みの時間をいただきました。

信仰教育委員会 奥笠さと子

こんにちは シスター 共同宣教司牧担当者のシスターの紹介シリーズ

奈良ブロック シスター・ローザ・チェリアン（カルメル宣教修道女会）



私は、南インドのケーララ州でシロ・マラバル教会に所属する家庭で生まれました。両親はとても信心深く、毎晩家族全員で祈る習慣がありました。また、家が教会に近く、子どもの頃は毎朝のようにミサに参加していたので、司祭やシスターたちとの交流が多かったです。その影響かもしれませんが、大きくなったら修道者になりたいという幼い頃の夢がありました。しかし、成長するにつれてその望みは薄れ、新たな夢として警察官になりたいと考えるようになりました。「あなたの人生に対する神の計画を妨げるものは何もありません」ということわざの通り、夢を追い求める中で私の進路は突然変わりました。皆を驚かせながら、1992年にカルメル会に入会しました。1995年に初誓願を立て、その後4年間神学を学び、2003年に終生誓願を立てました。

その後、2005年に日本に派遣されました。2年間の日本語の勉強は大変であり、日本での生活にもなかなか慣れなかったもので、インドに戻ることを真剣に考えたこともありました。しかし、私の望みではなく、神のみ心が実現され、結局私は日本に残り、宣教活動をする事になりました。語学の勉強の後、山口県宇部教会の幼稚園や、宇治男子カルメル会の黙想の家で奉仕しました。その後、京都教区で司牧活動に携わり、現在は奈良ブロックで奉仕しています。

これからも神の導きに身を委ねる恵みを祈ります。皆さんの温かい応援と励ましに心から感謝します。これからもよろしくお願いいたします。

2024年度 京都カトリック青年センター運営委員紹介①

2024年度の京都カトリック青年センター運営委員を紹介します。
京都教区の青年の中心となって、青年活動の企画や運営、そのサポート等を行っています。
今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

京 都 南 部

栗井 幹（西院教会）

NWM in 京都は無事に終わりましたが、青年活動はまだ続きます。皆さんと一緒に京都教区を盛り上げて行きましょう！

のん（河原町教会）

今年度も青年センターをよろしくお願いいたします！

橋本仁子（河原町教会）

この1年も、京都教区の青年活動を盛り上げていけるように頑張りたいと思います！
よろしくお願いいたします♪

任期：2024年4月1日～2025年3月31日



青年センターあんでな

お知らせ

司 教

大塚司教の予定

最新の情報は京都司教区のホームページにてご確認ください。



教 区

福音宣教企画室

病者高齢者奉仕講座 (対面開催)

「病者訪問を学ぼう—秘跡と訪問の基本」

日 時：6月20日㊦ 13:30~16:00

場 所：河原町カトリック会館地下ホール

講 師：小立花 忠神父 (京都司教区)

参加費：300円 (申し込み不要)

内 容：講話と分かち合い

問合せ：福音宣教企画室 075-211-3025(代)
hukuin@kyoto.catholic.jp

聖書委員会

オンライン聖書講座

「マルコ福音書を読む—

まことのイエスと出会う」開講中

問合せ：聖書委員会075-223-3339

seisho@kyoto.catholic.jp



広報委員会

教区時報8月号の原稿締切日は6月24日㊦です。

大阪高松教会管区

部落差別人権活動センター

シンポジウム 袴田事件「主よ、いつまでですか」

日 時：6月29日㊦ 14:00~16:30

場 所：大阪梅田サクラファミリア・聖堂

シンポジスト：

袴田秀子さん

(袴田巖さんの姉/再審公判補佐人)

門間幸枝さん

(無罪の死刑囚・袴田巖さんを救う会副代表)

問合せ：部落差別人権活動センター

075-223-3340 ㊦㊦㊦ 10:00~17:00

bukatu@kyoto.catholi.jp

ブロック

滋賀ブロック

「被爆者体験談の講演」と「愛と平和のコンサート」

日 時：6月22日㊦ 13:30~16:00

場 所：草津教会 草津市草津1丁目9-21
公共交通機関をご利用ください。

被爆者体験談講師：原田康夫氏(広島大学元学長、
現役耳鼻科医、オペラ歌手、93歳)

問合せ：小立花 忠神父

kotachibana@gmail.com 080-4980-0271

奈良ブロック

「聖書を学ぶ会」テーマ：典礼暦を学ぶ(全4回)

第2回「年間主日 イエスの布教活動」

講 師：奥村 豊神父(京都司教区)

日 時：6月15日㊦ 11:00~12:30

場 所：奈良教会

会 費：全4回 2000円(1回のみ1000円)

問合せ：田中博文 090-7886-2322 (13:00~20:00)

nara-bible@ymail.ne.jp

諸 団 体

京都カトリック混声合唱団

6月9日㊦ 14:00 聖歌練習

6月22日㊦ 17:30 練習後、ミサ奉仕

場 所：河原町教会聖堂

問合せ：075-951-4283 則武 隆

コーロ・チェレステ(女声コーラス)

練 習：6月13日㊦ 10:00 27日㊦ 10:00

場 所：河原町教会2階楽廊

問合せ：075-561-5971 駒井和子

聴覚障がい者の会・京都グループ

手話表現学習会(聖書と典礼)

日 時：6月18日㊦ 13:00~15:00

場 所：河原町教会地下ヴィリオンホール
(今回より場所が変わります)

申込・問合せ：Tel・Fax 075-723-1135 傳 裕子

心のともしび

ラジオ番組案内(全国34局で放送)

6月のテーマ「自然への感謝」

KBS京都 ㊦~㊧ 朝5:55

㊦ 朝5:15

ラジオ関西 ㊦~㊧ 朝5:00

㊦ 朝6:05

毎日放送 ㊦~㊧ 朝5:45

㊦ 朝4:55



心のともしび運動YBU本部臨時休業のお知らせ

工事のため西陣青年会館に仮移転します。6月1日㊦から9日㊦までを完全休業とし、電話・FAX・メールなどもつながりません。移転後の電話番号・住所など、連絡先は従来通りです。

皆さまのまわりに点訳版「京都教区時報」が必要な方がおられないでしょうか。点訳版「京都教区時報」をご希望の方がおられましたら、カ障連大阪フレ(全国34局で放送)ンドリー点字部・笠松幸彦さんまでお申込みください。無料でお送りします。
Tel・Fax/072-722-0271